

ぼくのおかあさん

ぼくのおかあさんはよくおこる

「はやくごはんをたべなさい」

「はやくしゅくだいをやりなさい」

ぼくはすぐにあそんでしまうので

まいにちおなじことをいわれてしまう

なつやすみになって

おとうとおひるねちゆうに

おかあさんとふたりでごはんをたべた

「なんかふたりでごはんをたべるの

ひさしぶりだね」

と、ぼくがいうと

「ほんとだ、ひさしぶりだね」

と、おかあさんがにつこりわらった

なんだかすこしとくべつなきがして

ぼくはうれしくなった

いつもは、いもうととおとうとがいて

おかあさんをひとりじめできない

よるねるときも、きょうだいで

おかあさんのよこをとりあつて

けんかしてしまう

「けんかしないではやくねなさい。」

と、やつぱりおこられる

おとうとはまだにさい

がまんしないで、おかあさんにくつつく

ほんとうは、ぼくも

おかあさんのとなりがいい

きょうだいがいると、とてもたのしい

でも、おかあさんを

もつとひとりじめしたい

ふたりだけのおひるごはんみたいに

とくべつなじかんがもつと

たくさんあつたらいいな